¥20.800 #2691 5.4kv(高トルク型) #2692 6.8kv(スタンダード) ¥ 21,800 #2693 8.0kv(高回転型) ¥ 21,800 #2694 ESC(アンプのみ) ¥ 13,800 #2695 5.4kvモーターのみ(高トルク型) ¥ 10.800 #2696 6.8kvモーターのみ(スタンダード) ¥ 11,800 #2697 8.Okvモーターのみ(高回転型) ¥ 11,800



この度は、テキン社ミニレージ・ブラシレスモーターシステムをお買い求め頂きまして誠にありがとうございます。

この日本語説明書と英文マニュアルをよくお読み頂いた上でお使いください。

ミニレージは、スロットル(前後進)とブレーキのプロファイルを変更することができます。

ミニRCモーターの常識を覆すテキンブラシレスモーターがついに登場。テキン最新技術満載の新モーターシステムは従来のDCブラシモーターに比べ 発熱ロスがなく、回転効率、パワー共に最高のスペックをお楽しみ頂けます。モーターメンテナンス(ブラシの摩耗、コミュの研磨など)が不要で耐久性も抜群。新開発の回路は、これまで難しいとされてきたRCカーに対するスムーズなスロットル・コントロールを可能にしました。 7種類のクイックチューンで簡単に出力特性を変化させる事が可能です。

★ミニレージ・ブラシレスモーター

スペック

- ◎モーターカン径 20mm
- ◎モーターカン高 33mm
- ◎モーター回転
- ・8.0KVは超高速タイプ
- ・6.8KVは高速タイプ
- ・5.4KVはトルクタイプ
- ◎モーター重量 48 g
- ◎ネオジム製マグネット仕様
- ◎モーターメンテナンス不要
- ◎RCカーに適したトルクを実現しました。
- ◎配線済みユニットは簡単に装着可能
- ◎ボールベアリング採用で回転効率がアップ
- ◎信頼性の高いネオジム製一体ローター仕様

Mini RAGE アンプスペック

- ◎入力電圧: 6.8KV & 5.4KVモーターの場合
 - ・Ni-MH& Ni-Cd / 4-12(4.8-14.4V)セル (1.2 V DC/セル)
 - LiPo / 2-4
- ◎入力電圧: 8.0KV モーターの場合
 - ・Ni-MH& Ni-Cd / 4-8(4.8-9.6V)セル (1.2 V DC/セル)
 - LiPo / 2-3
- ©24mm x 43mm x 10mm
- ◎ESC 重量 (本体のみ) 25.5 g
- ◎B.E.C. 電圧 5.0 V DC/2.0 A
- ◎パワーワイヤー 16Gシリコンワイヤー
- ◎モーター抵抗 (ブラシレス) 0.002オーム 25度
- ◎最大電流値 30A 25度
- ◎スロットル・プログラム(ブラシレス)7種類

☆使用上の注意

- ①モーターやアンプは水や水分をきらいます。また、ケースを開けないでください。基盤や外部に改造を加えないでください。故障の原因となります。
- ②ブラシレス・モードでは、ショッキーダイオードを使用しないでください。アンブが壊れます。 ③グラシレス・モードでは、ショッキーダイオードを使用しないでください。アンブが壊れます。 ③ターミナル部等でのショートを防ぐ為、各配線は収縮チューブで絶縁してください。
- ④使用時以外は必ずバッテリーを外しておいてください。
- ⑤バッテリーは適正電圧で使用してください。
- ⑥使用時には、必ず送信機側からスイッチを入れ次にアンプのスイッチを入れます。切る時は逆にアンプから先に切ります。 ⑦極性を間違えない様に配線してください。逆接をするとアンプが壊れます。
- ⑧パワーキャパシターは純正の物を必ず取り付けてください。

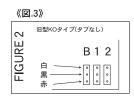
※その他の注意

ブラシレス・モーターは、ネジで組み立てられています。 数回の走行ごとに、これらのネジのゆるみをチェックしてください。 また、シンナー等でのケース洗浄によりケース表面を侵すことがあります。

STEP.1

アンプの受信器ワイヤーが使用するレシーバーと同じ極性になっているかご確認ください。 もしも、異なっている場合は図1~3を参考に正しく極性の順番を入れ替えてください。

《図.2》 新型KOタイプ(タブ付き) FIGURE B 1 2

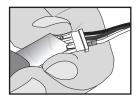


《図.4》

新型サーボワイヤーのコネクター・ピンの交換方法

ワイヤーの引き抜き方



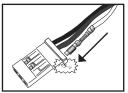


1.引き抜きたいワイヤーのハウジ



2.ツメ部分を持ち上げたまま

ワイヤーの差し込み方



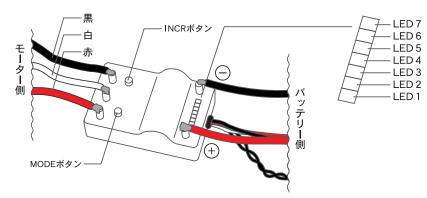
3.上図のようにコネクターをしっか りと差し込みます。 (逆接はとても危険です。故障の原因 となりますのでよくご確認ください。)

※フタバへはそのまま使用できますが、サンワ又はKOの旧型受信器には極性が現在と違うものがあります。(プロポ側の説明書と共によくご確認ください。)

★ハンダ付け

- ①ブラシレス・モードでは、ショッキーダイオードを使用しないでください。アンプが壊れます。
- ②ハンダ前にタブをきれい状態にしてください。
- ③配線は、アンプのそれぞれの極性をご確認の上、確実にハンダを行ってください。必要以上の加熱は、タブを傷める恐れが有ります。
- 取り付けるコードとタブを同時に加熱し作業を手早く行ってください。
- ④アンプのパワーコードをバッテリーに接続する場合は、極性に注意して行います。 (赤コードが+、黒コードが-)

注意:正しい極性で使用しないとアンプにダメージを与えます。これらの損傷は、保障対象外となります。



付属品

- ・固定用両面テープ
- ・ストラップ
- ・ステッカー

装着方法

アンプのパワーワイヤーは、サーボや受信器(アンテナを含む)からなるべく離してください。

- ①RCカーへの装着は、付属の両面テープを用い正確に装着します。受信器のアンテナはモーターワイヤー、バッテリー、サーボからなるべく離した 位置にマウントし、短く切らずに立ちあげてください。
- ②パワーキャップも付属の両面テープでRCカーに固定してください。ワイヤーなどは、シャーシの各部にストラップを用い正しく固定してください。 これにより断線や可動部への干渉を防ぎます。
- ③スイッチを付属の両面テープを用い正確に装着します。

送信機のセットアップ

- A).HIGH ATVまたはEPAは最大にセットしてください。
- B).LOW ATV、EPAまたはATLは最大にセットしてください。
- C).EXPONENTIALは0にセットしてください。
- D).スロットルのリバース・スイッチはどちらの位置でもかまいません。
- E).スロットル・トリムはミドルポジションにセットしてください。
- F).前進とブレーキで使用する場合の送信機側の電子トリガーの割合は、前進70%ブレーキ30%でセットします。 しかし、前後進で使用する場合は、50:50でセットします。
- G).前進とブレーキで使用する場合の送信機のトリガーは前進2/3、ブレーキ1/3でセットします。 しかし、前後進で使用する場合は、1/2:1/2でセットします。

初期設定

- ①送信機のスイッチをオンにします。
- ②アンプのスイッチをオンにします。LED1が点灯します。
- ③モードボタンを約3秒間押し続け、初期セット入力モードになります。
- ④LED4が音と共に点滅しニュートラルポジションを記憶します。
- ⑤次にLED7が音と共に点滅し、送信機のスロットルをハイポイントに移動しハイポジションを設定します。
- ⑥次にLED1が音と共に点滅し、送信機のスロットルをフルブレーキポイント(ハイバックポジション)に移動し フルブレーキポジション(ハイバックポジション)を設定します。
- ⑦送信機のスロットルをニュートラル・ポイントに移動し完了です。
- ⑧LED1が点灯すれば、全てのキャリブレーションが終了し、走行可能な状態となります。

7種類のクイックチューン クイックチューンの設定は、モードボタンを押すことでLEDが点滅し可能となります。

なお、モードボタンを連続して押すことで点滅するLEDが位置が変わり、それぞれ下記の変更項目の設定が可能です。変更したい項目にあわせたら、 INCRボタンで設定値を変更します。限られた数秒内に連続して押すことで変更が可能です。

(クイックチューン作業は連続的に行ってください。途中で一定以上の時間が経つと入力エラーとなりニュートラルに戻ります。)

LED1.

ドラッグブレーキ....はニュートラル時に掛かるブレーキのことです。1(弱)から13(最強)まで、INCRボタンで設定値が可能です。

I FD2

リバース/ブレーキ....はリバース/ブレーキの強さを変えることが出来ます。1(弱)から13(最強)まで、INCRボタンで設定値が可能です。

LED3.

タイミングアドバンス.....はドライビングスタイルやコースの状態にあわせ選択が可能です。1から13まで、INCRボタンで設定値が可能です。

LED4.

ブレーキ/リバース・タイプ(以下の様になります。)下記の3種類からINCRボタンで設定値を可能し選択してください。

- ①前進>>ブレーキ>>後進...LED1が点灯 走行は、自由に前進<>ブレーキ<>後進を繰り返すことが出来ます。
- ②プロポーショナル・ブレーキ&リバース・ディレイ.....LED1-2は点灯 前進中急に後進へ入れても、1秒のリバース・ディレイの後、後進へ切り替わります。
- ③プロポーショナル・ブレーキ&リバース無し.....LED1-3は点灯 前進<>ブレーキのみで制御させます。

LED5.最低電圧・カットオフ

このファンクションは、ノーコン防止とLiPoバッテリーの過放電防止に役立ちます。もしも、PiLoバッテリーを使用する場合は、正しいセル数を選択 してください。下記の5種類からINCRボタンで設定値を可能し選択してください。

- ①カットオフなしのNi-Cd & Ni-Mhバッテリー用モード...LED1が点灯
- ②4VカットオフのNi-Cd & Ni-Mhバッテリー用モード....LED1-2が点灯
- ③6Vカットオフの2 Cell LiPo バッテリー用モード...LED1-3が点灯
- ④9Vカットオフの3 Cell LiPo バッテリー用モード...LED1-4が点灯
- ⑤12Vカットオフの4 Cell LiPo バッテリー用モード....LED1-5が点灯

LED6.スロットル・プロファイル

下記の7種類からINCRボタンで設定値を可能し選択してください。

- ①超マイルド・プロファイル……LED1が点灯
- ②マイルド・プロファイル......LED1-2が点灯
- ③リニア・プロファイル......LED1-3が点灯 ④アグレッシブ1・プロファイル......LED1-4が点灯
- ⑤アグレッシブ2・プロファイル......LED1-5が点灯
- ⑥アグレッシブ3・プロファイル......LED1-6が点灯
- ⑦アグレッシブ4・プロファイル......LED1-7が点灯

LED7.ブレーキ・プロファイル

下記の7種類からINCRボタンで設定値を可能し選択してください。

- ①超マイルド・プロファイル……LED1が点灯
- ②マイルド・プロファイル......LED1-2が点灯
- ③リニア・プロファイル......LED1-3が点灯 ④アグレッシブ1・プロファイル......LED1-4が点灯
- ⑤アグレッシブ2・プロファイル......LED1-5が点灯
- ⑥アグレッシブ3・プロファイル......LED1-6が点灯
- ⑦アグレッシブ4・プロファイル......LED1−7が点灯

受信器用バッテリー

別電源を受信器用バッテリーに使用する場合は5セル(6.0V)の物をお使いください。その場合、アンプのスイッチはオフにし、レシーバーパック側 のスイッチで制御します。

※もしも、アンプの全てのLEDが点滅する場合は接続に何らかの問題があります。ご確認ください。

※トラブル解決策

- ・ランプの点かない不具合
 - バッテリーの導通、コネクターの接続、正しくスイッチがオンになっているか確認してください。
- 全てのLEDが点滅する不具合

レシーバーコードの極性や接続を確認してください。

- ・トップ3LEDが点灯する不具合
 - 送信機の切れ角が使用角度から大きく外れている場合です。トリム調整を行ってください。
- ・サーボ&スロットルの不具合の場合

バッテリー不良、コネクター不良、レシーバーコネクターの接続不良、スイッチ不良、コード断線、クリスタル不良、ヒューズ切れ、プロポ不良 などをご確認ください。

・サーボ正常、スロットルの不具合

正常に初期設定がなさせていない場合、ピットチューンモード、モーターまたはモーターへの配線が悪い場合、レシーバーまたはレシーバーコネ クターの不良、レシーバーコネクターが正しくレシーバーのスロットル位置に差し込まれていない場合があります。

・スロットル正常、サーボの不具合

サーボ本体の不良、サーボの接続不良、サーボワイヤーの不良またはレシーバーの正しい位置に差し込まれていない場合があります。

・ブレーキが効かない不具合

設定が正しくない場合があります。

オートカウンターの作動不良

トランスポンダを前方にずらし、バッテリーや配線からなるべく離してください。

- ☆その他、ご質問等がございましたらイーグル・サービスカウンター 0532-61-1554までお気軽にお問い合わせください。
- ☆修理サービスにつきましては、イーグル・サービスカウンターで行っていますのでお問い合わせください。
- ☆製品保証につきましては、一部アメリカ国内保証と異なりますが、ほぼノバック保証に準じて処理させていただきます。 保証依頼の場合はディーラーステッカーが必要になりますので購入後必ずアンプの側面にはっておいてください。

☆ディーラーステッカー↓